

シラバス

授業科目	生体機能調節 I		
(英文名)	Regulation of Human Body Function I		
担当教員	田村 豊 他		
単位数(期別)	△2(前)	対象学生	1P

■授業のねらい・概要■

本講義のねらいは、人体を構成する器官、および器官系の機能を学ぶことにある。これによりヒトの生命、あるいは健康がどのようなメカニズムで維持されているかを知り、次学年以降で学ぶ疾患を理解するための基礎知識を修得することを目標とする。

本講義は、すべての講義を 4 人の教員(田村 豊、西尾廣昭、佐藤英治、道原明宏)全員で担当する。すなわち、1 学年を 12 のグループに分け、1 人の教員が 4 つのグループを担当し、スモールグループディスカッション(SGD)を基本とした PBL チュートリアル方式により進めていく。【C8(1)、(3)、(5)】

■授業(学習)の到達目標■

人体を構成する器官の、位置、大きさ、機能について説明できる。また、器官系の機能についても説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- 1 肺と気管支の構造と機能を説明できる。
- 2 呼吸のしくみについて説明できる。
- 3 胃の構造と機能を説明できる。
- 4 小腸の構造と機能を説明できる。
- 5 大腸の構造と機能を説明できる。
- 6 脾臓の機能を説明できる。
- 7 肝臓と胆嚢の機能を説明できる。
- 8 消化と吸収のしくみについて説明できる。
- 9 腎臓と膀胱の構造と機能を説明できる。
- 10 生殖器系の構造と機能を説明できる。
- 11 循環器系と呼吸器系の関連を概説できる。
- 12 循環器系と消化器系の関連を概説できる。
- 13 循環器系と泌尿器系との関連を概説できる。
- 14 呼吸器系と循環器系の代表的な疾患について説明できる。
- 15 消化器系と泌尿器系の代表的な疾患について説明できる。

※なお、本講義は同時に開講されている人体の構造と機能 I と連動して進行していく。

■成績評価の方法・基準■

討論の態度、自己学習内容、レポート、発表内容、質問回数、および試験により評価する。

■使用テキスト■

体の地図帳 高橋 長雄 講談社 ISBN:4-06-204169
(人体の構造と機能 I、人体の構造と機能 II と共通で使用)

■参考書■

新訂目でみるからだのメカニズム 堺 章(医学書院)

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日から金曜日は午後 5 時から午後 8 時まで 土曜日は午後 1 時から午後 3 時まで
----------------------------	---

シラバス

<使用テキスト注文書>

注) すべての項目をご記入下さい。

書名	体の地図帳
著者名	高橋 長雄
出版社名	講談社
ISBN・ISSN	ISBN:4-06-204169
予想部数	200部